

環境・CSRへの取り組み

三菱商事では、企業理念である『三綱領』を全ての企業活動の基礎と位置付け、地球環境や地域社会に配慮した取り組みを推進するとともに、社会に役立つ事業価値を追求し、企業価値のさらなる向上に努めています。今号では、投融資案件における環境・社会面のリスクマネジメント体制と、東日本大震災復興支援の取り組みを紹介します。

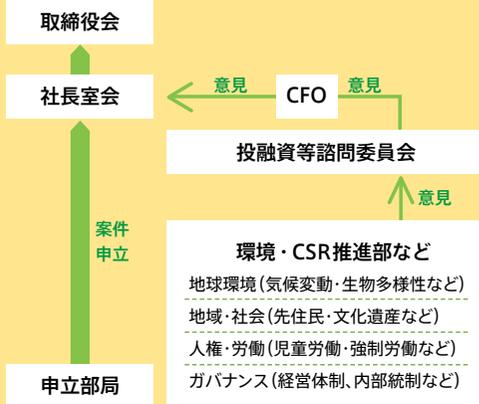
ビジネスにおける環境・社会面への配慮

環境・社会面からのリスクマネジメント体制

三菱商事では、投融資案件を検討・推進する際、経済性のみならず、環境や社会への影響を含めて、総合的に審査を行っています。具体的には、コーポレートスタッフ部門の一つとして環境・CSR推進部が各投融資案件について環境・社会面から審査を行い、最高財務責任者(CFO)を委員長とする「投融資等諮問委員会」に対して意見を述べています。審査にあたっては、環境・社会・健康影響評価(ESHIA)報告書のレビューや国際金融公社(IFC)のガイドライン、国際協力銀行(IBIC)の「環境社会配慮確認のための国際協力銀行ガイドライン」などを参照しています。

また、環境・社会面のリスクマネジメントの一つとして、サプライチェーンマネジメントを実施しています(詳細は次ページをご参照ください)。

● 投融資案件の審査における環境・社会面からのリスクマネジメント体制



サプライチェーンマネジメント

「安全で衛生的な労働環境が提供されているか」「適切な賃金が支払われているか」——。世界中で多様な商品・サービスを取り扱う三菱商事にとって、サプライチェーンが抱える課題を適切に把握し、対応することは重要課題の一つです。三菱商事は、人権・労働問題・地球環境等への取り組みの方針となる「サプライチェーンにおけるCSR行動ガイドライン」を制定し、CSRに対する三菱商事の基本的な考え方をサプライヤー各社と共有するとともに、アンケートや現地視察による調査を通して、現場の状況把握を行い、必要に応じて指導・改善支援を実施しています。現地調査は、製造工場視察をはじめ、経営陣や従業員へのインタビュー、近隣住民へのヒアリングなど多岐にわたります。



●スリランカの紅茶サプライヤーKelani Valley社への視察



●農園で作業中の方にインタビューをする三菱商事社員

農園、労働者の住居、工場などを視察し、人権侵害の有無や安全で衛生的な労働環境が確保されているか等を確認しました。

現地視察も含めた、サプライヤー各社の環境・社会面に配慮したCSRの取り組みを継続的にモニタリングすることが、三菱商事の持続的な成長につながると考えています。

外部からの評価

MEMBER OF
Dow Jones
Sustainability Indices
In Collaboration with RobecoSAM

三菱商事は、ビジネスおよび社会貢献活動において地球環境や地域社会に配慮し、またこれらに付加価値を提供する取り組みを推進していますが、これらの取り組みを外部ステークホルダーに対して積極的に発信することも重要と考えています。

三菱商事は現在、DJSI World(ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス)の構成銘柄に指定されています。DJSI Worldとは、毎年、経済・環境・社会の3つの側面から世界各国の企業の持続可能性を評価し、各業界セクター内で上位10%の企業を組み込む株指標です。



2015年度、三菱商事はCarbon Disclosure Project(CDP)において、以下の評価を受けました。CDPは、企業の気候変動に関する情報開示の分野で、世界の投資家から最も信頼されている評価・格付けの一つです。

- CDP気候変動(企業の気候変動問題に対する対応状況を評価)
情報開示スコアで99点(100点満点)、パフォーマンススコアでB評価
- CDPウォーター(企業の水リスク管理に関する取り組みを評価)
「B-マネジメント」の評価(「資本財・サービス」セクターの中で第1位)

日経環境経営度調査

三菱商事は、日経環境経営度調査で非製造業商社部門で1位に選ばれました。日経環境経営度調査は、日本経済新聞社が、企業の環境対策と経営を両立させる取り組みを評価する調査です。

東日本大震災復興支援

スパークリングワイン・シードルが初出荷

2016年3月4日、福島県郡山市の「ふくしま逢瀬ワイナリー」から、福島産スパークリングワイン、シードルが初出荷されました。公益財団法人三菱商事復興支援財団が郡山市と連携協定を結び推進する、果実の生産から加工・販売までを一貫して行う新たな事業モデルの構築を目指す「果樹農業6次産業化プロジェクト」の記念すべき第一歩です。

初出荷されたのは、福島県のぶどうから造ったスパークリングワイン500本、同じく福島県産

のりんごから造ったシードル5,000本。福島県のホテル・旅館・レストラン・観光施設・お土産店などで販売する予定ですが、将来的には東北地区や首都圏のレストラン、小売店などでの取り扱ひも目指しています。

三菱商事復興支援財団では、「果樹農業6次産業化プロジェクト」の推進を通じて、地域経済の活性化と福島県をはじめとする被災地の復興を支援していきます。

“ふくしまの未来”を想う
生産者の情熱が込められた
ワインです



●スパークリングワイン 『MUSCAT BAILEY A ROSE 2015』

大きな寒暖差により旨味の詰まった農作物を生み出す会津盆地で収穫したぶどうを100%使用。心地よい泡にいちごのようなフレッシュで甘い香りが口いっぱい広がります。



●シードル『CIDLE 2015』

開花から収穫までの期間が長く、じっくり完熟した福島県産「ふじ」を100%使用。芳醇な甘味と酸味のバランスに優れ、フレッシュな香りと果実味が感じられます。

「りんごの味には自信があります。このプロジェクトを通じて、福島農産物のおいしさと安全性をアピールしたい」

「加工から販売までの仕組みを財団が整備してくれたことで、農家の皆さんのモチベーションが高まり、具体的な課題・目標が明確になりました」



郡山市園芸畜産振興課の箭内 勝則課長補佐（左）とカワ丸樹園のカワ丸 哲さん



ワイナリー醸造責任者の佐々木 宏さん

「醸造酒は原料の味で決まります。福島産果実の自然なおいしさを引き出し、ここで造るワインが福島農産復興の一助になればうれしいです」

産業復興・雇用創出支援を継続的に推進

三菱商事は、三菱商事復興支援財団を通じて、地元金融機関と協働し、「産業復興・雇用創出支援」を展開しています。2015年度は6件の出資・融資を決定し、2012年度からの支援案件は合計で50件となりました。

●2015年度 新規支援案件

岩手県

- 水産加工販売／洋野町 ひろの屋



セッションナブル

東北産の杉を原料に製造するギター工房。ギター生産と販売を通じて女川町の雇用創出、産業復興、観光の発展に寄与するほか、東北の音楽文化の発展にも貢献することを目指しています。

宮城県

- ギター製造販売／女川町 セッションナブル
- 石けん製造販売／女川町 アイローカル
- 食品製造／石巻市 大地フーズ

福島県

- 宿泊施設／南相馬市 いちばん星
- 服飾品加工販売等／南相馬市 小高ワーカーズベース

小高ワーカーズベース

南相馬市小高区は、震災に伴う原発事故により全域が避難区域に指定され、住民の大半が今も避難生活を送っています。小高区に帰還する、または帰還を検討している住民の暮らしを支えるビジネスの創出を目指し、シェアオフィス、仮設スーパー、ガラス細工製造販売を運営しています。



熊本地震に対する支援について

平成28年4月に熊本県を中心に発生した大規模地震による被害に対し、被災地支援として1,000万円の寄附を実施しました。